

とうかいグッドトイ委員会 おもちゃ通信



2020年
7月号

ホームページ: <http://toukaigoodtoy.web.fc2.com/>

おもちゃ通信は会員同士の情報共有とつながりづくりを目的として発行する月刊通信です(^o^)

こんなおもちゃを見つけました👉

「つまむパズル」

(丹野製作所/北海道旭川市)

今回は丹野製作所さんが作った「ビー玉をつまむパズル」と「家をつまむパズル」を紹介します。昨年「東京おもちゃまつり」でこちらの会社が作ったおもちゃを見て、デザインが素敵だなと思っていましたが、今回ハンドメイドサイトのクーリマで玩具を探していたときにたまたま出展されているのを見つけました。

このパズルが面白いのは大人になるほど難しくなるという点。遊び方はシンプルなので、つい夢中になりそうです。木目も美しく、ちょっとしたインテリアとして部屋に飾っていてもいいかもしれません。丹野製作所で検索してみてください。



おもちゃエッセイ⑱

「移りゆく興味」

コロナで外出を自粛していた4月に所有している玩具をひとつおとり写真で整理してみて、改めてわかったことがある。それは「自分の玩具への興味が移り変わっている」ということ。玩具を集め始めた頃は正にアナログゲーム一色。しかしここ1・2年に購入した玩具は圧倒的に伝承玩具や郷土玩具が多い。最初は独楽から始まり、最近ではこけしや人形などの置物へ、イベントではあまり使えない物ばかりだ。明らかに「遊びもの」から「伝統・文化」に傾いている。年齢のせいなのか？ミーハーなのか？おそらくこの活動を始めて、これまで沢山の玩具に出会う中で、「良い物であっても売れなければ失われる」というのはかさを感じたからなのだろう、今は昔から受け継がれてる奇跡的な玩具に対し、崇高さを感じているのは間違いない。いずれ和製玩具から西洋玩具に興味に移っていくのだろうと沼にはまってしまう危機感を抱きながら、今は「コロナが明けたら、絶対に京都の伏見人形を見に行こう」と心に決めているのであった。



★角さんの今月のゲーム

「タンブリングダイス」

メーカー：ピチカートデザイン 年齢6歳～
人数2～4人～ プレイ時間20分

夏の暑さが続きますね。涼しい室内での遊びを覚えるのもっと楽しいですよ！「タンブリングダイス」はダイスを転がしたり弾いたりして、高得点を狙うダイスアクションゲームです。プレイヤーは自分の色のダイスを4個持ち、順番に1個ずつボードに投げ入れ、止まったボードに書かれてる数字×ダイスの目を確認してそれが得点になります。ただし、自分のダイスをボードの外に落としてしまったり、他のプレイヤーにダイスを落とされてしまうと、そのダイスは0点なのでご注意ください！全員が全てのダイスを弾いた後、得点が最も高いプレイヤーの勝利です！

ルールはシンプルでとても簡単、それでいてすぐに盛り上がるゲームです！新版が7月に出版しました！



✂️ 作って遊ぼう！番外編

「透明人間」

【材料】ケント紙1枚、竹串2本、ストロー2本、いらなくなったガムテープ芯

【作り方】

ケント紙を半分に折り、足跡を描き、切り取る。足あとから少しはみ出すように、裏にストローをテープで貼る。1センチ位足からはみ出す。親指の下膨らんでいるあたりにつける。ガムテープの芯の内側に竹串をテープで貼る。竹串にストローを通せば出来上がり。芯を押すとペタペタ透明人間見たいに歩く。

【編集後記】ようやく7月からとうかいの定例会も再開しますが、今年度のイベントは全滅の可能性も。今年度は個々のスキルアップのとしとして、学習会を中心にした活動になりそうです。楽しい研修を考えましょう！！by 内山